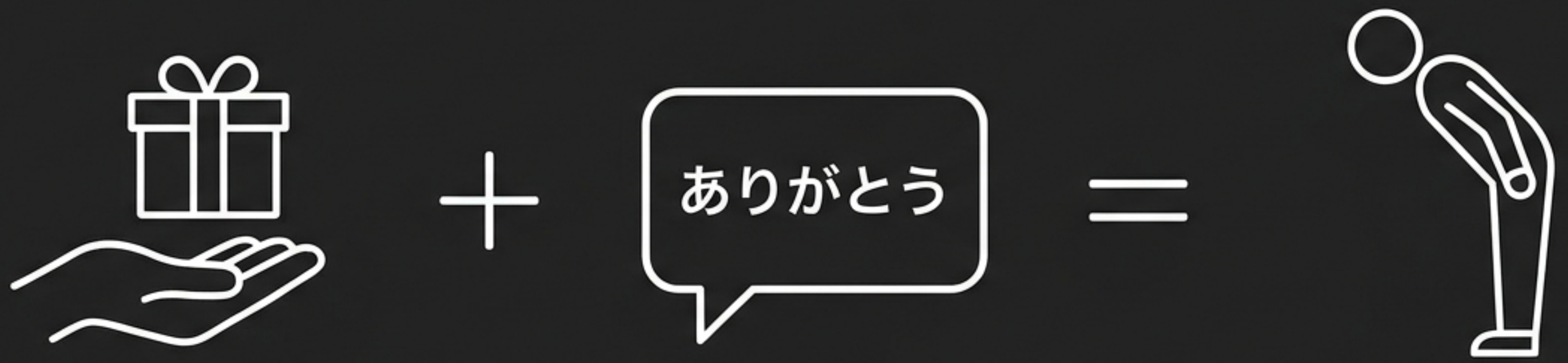
# 何かをしてもらった時の反応に、その人の本性が表面化する。

私たちは「本当の礼節」を理解しているか？

Gemini Notebook

# 世間が盲信する「礼節の方程式」




厚意

礼儀正しい人

多くの教室やコミュニティでは、何かをしてもらった時に「ありがとう」と言うことを礼節として教えています。そして、「ありがとう」と口にできる人を、無条件に「礼儀正しい人」として高く評価します。

Gemini Notebook

しかし、言葉の裏に潜む事実

# 「ありがとう」は無料だ。

言葉だけなら、何度でも言える。
頭を下げるだけなら、誰にでもできる。

Gemini Notebook

# 「厚意の搾取」という無限ループ




「ありがとう」という言葉が、他者の時間や労力を受け取り続けるための“免罪符”に変わる瞬間。言葉だけで済ませる行為は、事実上の「厚意の搾取」に他ならない。

行動は一切起こさない

Gemini Notebook

# 言葉の「後」に分岐する人間性




重要なのは、何を返したかではなく、「返そうという発想」があるかどうか。
恩返しの方法は一つではない。教わったことを実践する、結果を出す、黙って掃除をする。
真の礼節は、言葉の後の行動から始まる。

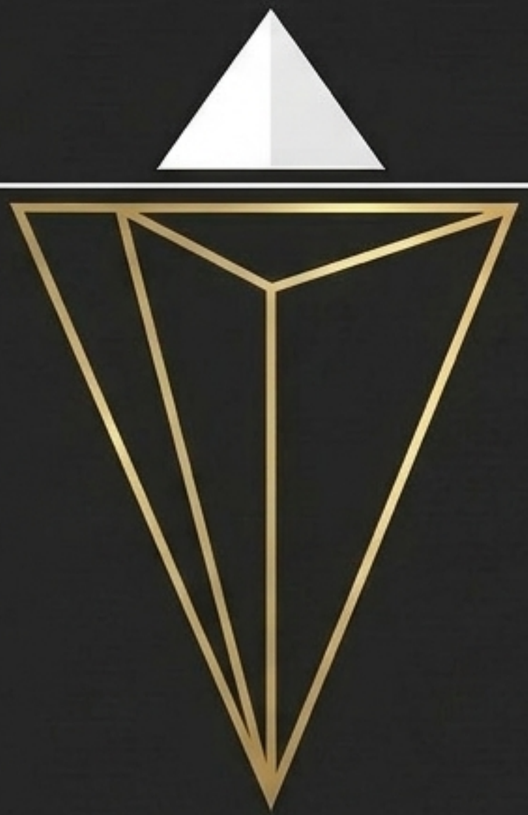
Gemini Notebook

# 2つの人間像：あなたの目の前にいるのはどちらか？

| | 厚意を消費する人 | 厚意を次の価値につなげる人 |
|---|---|---|
| 言葉 | 流暢に感謝を述べる | 不器用でも感謝を伝える |
| 行動 | 受け取って終わる | 教わったことを必死に実践する |
| 目的 | 免罪符としての挨拶 | 少しでも成果を出し貢献する |
| 関係性 | 経験が積み重ならない | 周囲との関係が大きく好転する |

Gemini Notebook

# 指導者の見落としと、氷山の底



## 指導者が評価しがちな「形式」

- 挨拶の有無
- 頭を下げる動作

## 見落とされがちな「本質」

- 相手の厚意をどう受け止めたか
- 自分に何ができるかを考える力

礼節を教えているつもりで、礼節を「言葉だけで済ませる人」を育てていないだろうか？
「ありがとうだけの人」を評価してしまう時、指導者自身の人間性を見る目が問われている。

Gemini Notebook

# 形式主義への警鐘

挨拶やお礼の「言葉」だけを覚えさせる

↓

言葉を発しただけで「礼を尽くした」と錯覚する

↓

形式を守るだけの人間を
「人間性が優れている」と誤評価する

挨拶を言わせることは簡単だ。
言ったか、言わなかったかで
簡単に評価できるからだ。

しかし、その安易な評価基準が、思考停止した「形式主義者」を生み出す。

Gemini Notebook

# 評価されるべき「不器用な誠実さ」

ありがとうございます！



感謝の言葉は不器用でもいい。
教わったことを必死に実践し、少しでも成果を出そうと努力する人。
自分にできることを探し、黙って掃除をする人。
言葉ではなく、その「行動」にこそ、本物の人間性が宿っている。

Gemini Notebook

# 感謝の再定義




感謝とは、口から出る言葉だけではなく、その後の行動にも表れる
「連続したプロセス」である。
言葉を否定するのではない。言葉だけで満足してしまうことを疑うのだ。

Gemini Notebook

「ありがとう」を何度言ったかではない。

「ありがとう」の後に、
その人は何をしたのか。

この問いを持つだけで、私たちの教育と関係性は、大きく変わる。

Gemini Notebook